

白神の絆

林野庁
東北森林管理局
津軽白神森林生態系
保全センター

平成 28 年 11 月 25 日
No.125

長期変動調査 今年の作業終了



機器の設置（林内気温観測装置）

東北森林管理局では、平成7年から毎年、『白神山地世界遺産地域における原生的ブナ林の長期変動調査』を行っています。

この調査は、白神山地世界遺産地域管理計画（※）で「関係行政機関は、地元市町村、大学・研究機関、その他の学識経験者等と連携・協力して、効果的な調査研究・モニタリングによる科学的知見の集積に努める」とされており、具体的には白神山地世界遺産地域モニタリング計画（※）に基づき実施しています。調査は主に

以下の5項目が行われます。

①倒壊林冠発生木調査

遺産地域内のブナ林に設定した調査区で、樹木を一本ずつ調査し、倒木や枯れ木、新たに生えて一定の大きさに成長した樹木の発生を調査するもの

②積雪深調査

冬季の最大積雪深、雪積・融雪の時期を観測するもの

③林内気温調査

白神山地遺産地域内の気温を、1年を通して1時間ごとに観測するもの

④入り込み利用調査

人の入り込みが白神山地に与える影響を調査するもの

⑤越年調査（※）

冬期間の積雪等で現地への立ち入りが難しい地点に、自動的に撮影できるカメラを設置し、10月下旬から翌年8月まで1時間ごとの様子を記録するもの。

今年は6月下旬から観測データの回収が始まり、先月下旬に冬期間実施する調査の機材を備え付け、現地の作業が終了しました。

※「白神山地世界遺産地域管理計画」「白神山地世界遺産地域モニタリング計画」、越年調査で撮影された「原生的ブナ林の調査画像（動画）」は当センターHPでご覧いただけます（久保）

修学旅行で訪れた東京都の中学生を案内しました



葉が染まり始めた森を歩きました

10月19日(水)、白神山地に位置する青森県鱒ヶ沢町の「白神の森」において、東京都文京区から来た桜蔭中学校240名の修学旅行生に対し、ブナ林の魅力や森林生態系などを説明しながら林内を案内しました。これは鱒ヶ沢町にある白神の森遊山道「くろもり館」からの依頼に対応したもので、当センター職員2名と地元ガイドの方々併せ10名が修学旅行のガイドを行ったものです。

森林散策は1時間程度でしたが、ぶなの巨木に聴診器をあてたり、熊の爪痕に触れたりしながら、原始的な森林を感じた貴重なひとときになったのではないかなと思います。白神山地を見学する学校は他にもありますが、訪れた中学生が都会にはない森林の魅力や大切さを少しでも感じとってくださることを期待したいです。(吉川)

お仕事お疲れ様です!!



いただいたプレゼント

勤労感謝の日を前に11月8日(火)、鱒ヶ沢こども園の園児14名が、当センターを訪れ「いつもおしごとおつかれさまです!!」と大きな声で職員を激励。元気いっぱい「みんながみんな英雄」の歌と緑いっぱいの手作り貼り絵カレンダーのプレゼントを頂きました。早速事務室に飾り仕事の励みにしています。

こども園と当センターは、子どもたちに草花に親しんでもらい、自然環境の大切さを学んでもらおうと毎年春に花の植栽体験学習を実施しています。(石田)

